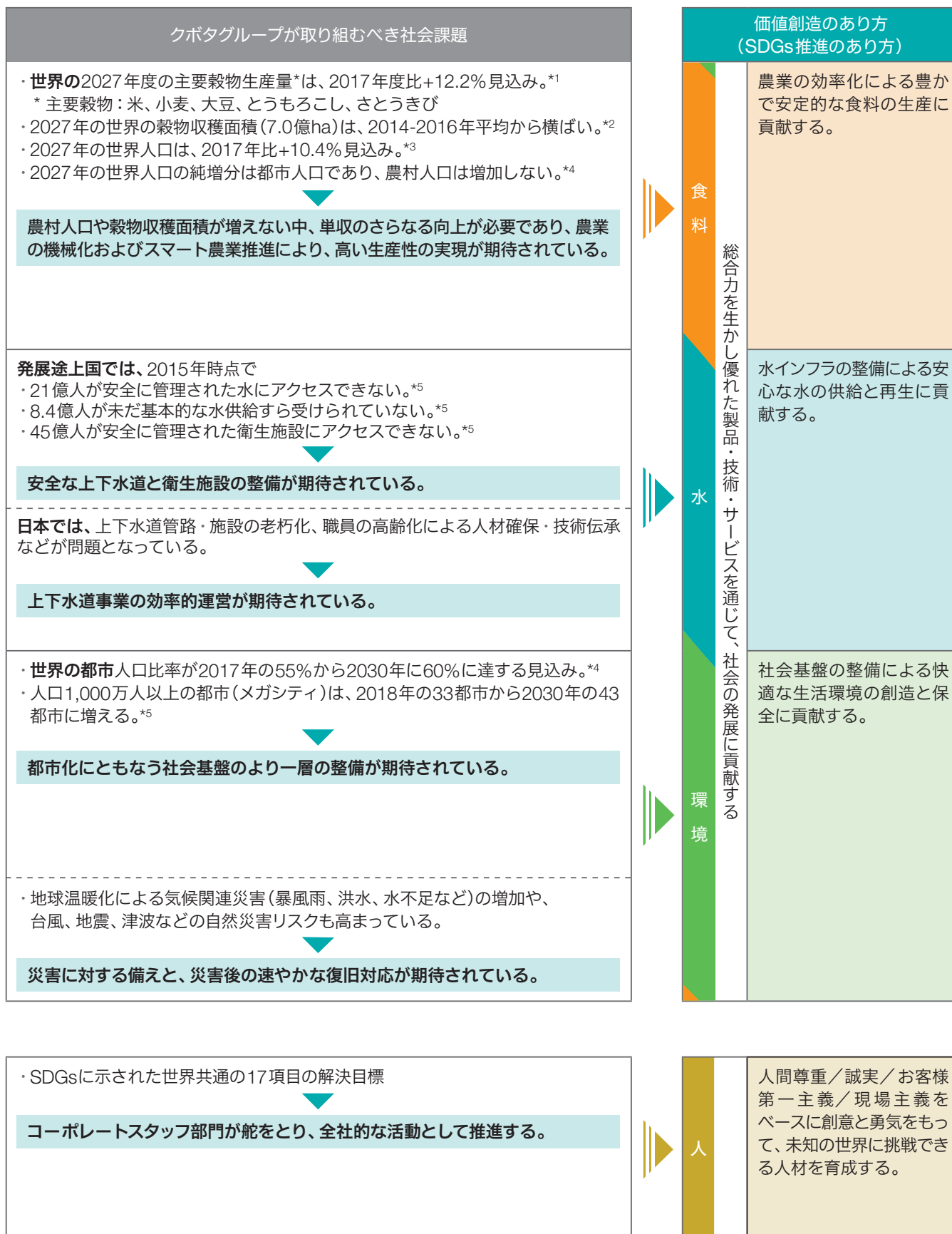


クボタグループが取り組むべき社会課題とSDGsへの貢献



出典：*1 FAO「FAOSTAT」

*2 農林水産政策研究所「世界の食料需給の動向と中長期的な見通し」(2018年3月)

*3 国連「World Population Prospects 2017」

*4 国連「2018 Revision of World Urbanization Prospects」

*5 WHO/UNICEF「Progress on Drinking Water, Sanitation and Hygiene 2017」

*6 Design Build Operate方式の略称で、設計・建設から維持管理業務を民間事業者に一括して委託する方式

*7 国土交通省が平成23年度から行っている下水道革新的技術実証事業

関連する 主要SDGs	クボタグループのSDGs KPI	KPI達成に向けた2020年度の主な展開事例
 	・農業機械のさらなる普及を通じた食料生産への貢献 ・IoTやロボット技術を活用したスマート農業の推進(クボタスマートアグリシステム(KSAS))	・新規就農や経営規模拡大を支援するため、農機シェアリングサービスの試験運用を開始 ・現地農業の発展を目的に、地域密着型の実証農場として約35万m²の「クボタファーム」をタイに開設 ・世界最大の農機市場であるインドにおいて、現地企業とのパートナーシップによる生産拠点でトラクタを量産開始 ・国内向けトラクタの直進自動操舵機能について、28馬力から60馬力までラインナップを拡大 ・電動トラクタの開発を継続して推進 ・農業の持続性をテーマに「夢のトラクタ」の構想をまとめ、実物大のコンセプトモデルを公開 ・農業のスマート化を加速させるため、世界各国の特有技術を持つ企業とパートナーシップの構築や資本参入を拡大
 	・上下水道・水処理施設に関するさらなる製品・技術・サービスの提供を通じた持続可能な水インフラ整備への貢献 ・水関連製品、水処理技術、マッピング・設計技術、工事などの総合力とIoTを活かした水環境分野での効率的運営への貢献	・「水道」に関した夢のあるテーマを研究する、国内大学の若手研究者を対象とした研究奨励制度を創設 ・中国及び東南アジアの水環境改善のために液中膜・浄化槽を納入 ・下水道整備区域外の大規模建築物からの生活排水を処理する大型浄化槽「KTZ型」が「第46回 優秀環境装置表彰 日本産業機械工業会会長賞」を受賞 ・弘前市向けのDBO方式^{*6}による浄水場等建設事業及び市内水道施設の運転管理事業に参画 ・広島市よりKSISによる配水監視とクラウド型マッピングシステムを連携する「配水監視システムの構築及び運用・保守業務」を受注 ・国土交通省のB-DASHプロジェクト^{*7}「IoTとAIを活用した効率的予防保全型マンホールポンプ維持管理技術の実証事業」に参画
 	・環境に配慮した持続可能な都市インフラ整備への貢献 ・災害に強い持続可能でレジリエントな都市インフラ整備への貢献	・産業用大型ディーゼルエンジンの開発(200馬力帯の開発推進に加え、当社最大クラスの300馬力帯の開発に着手) ・マイクロハイブリッドエンジンの開発を推進 ・スマートフォンで建設機械の故障修理を効率化するアプリを開発 ・小型建機の普及を目的として、米国に小型建設機械の生産拠点を着工 ・エコ建機(電動小型建機)の開発を継続 ・CO₂削減への寄与が期待される水素の活用のため、グローバルな連携や水素サプライチェーンの形成を推進する「水素バリューチェーン推進協議会」へ参画 ・昆虫の力を活用し、家畜排せつ物等から生産した有機肥料の有効性に関する共同実証実験を開始 ・東京都向けに特大口径(2600mm)の耐震型ダクタイル鉄管US形(R方式)を納入 ・国土交通省、農林水産省や自治体向けに浸水被害復旧用の排水ポンプ車を納入 ・浸水対策のために河川や排水路に設置されるポンプゲートに利用できる「AI診断システム」を開発

食料・水・環境の「共通」：エコプロダクツの拡充
(エコプロダクツ認定製品売上高比率)

エコプロダクツ売上高比率の2020年度実績：66.2%

      	品質保証、環境、調達、安全、人事の各項目で設定する指標の改善を図る	(品質保証) リコール件数：3件 (環境) 国内拠点のCO₂排出量：2014年度比 26.3%削減 (調達) CSR調達の推進：CSR調達セルフアセスメント170社、紛争鉱物規制への対応 (安全) A種災害ゼロ：未達成 (人事) 障がい者雇用率：2.44% 育児休暇取得率：男性59.1%、女性100% 健康クボタ21目標達成：2022年度目標達成に向けた活動を推進中
---	--	--

参考：SDGs17の目標 1(貧困) 2(飢餓) 3(健康) 4(教育) 5(ジェンダー) 6(水・衛生) 7(エネルギー) 8(成長・雇用) 9(技術革新) 10(不平等) 11(都市) 12(生産・消費) 13(気候変動) 14(海洋資源) 15(陸上資源) 16(平和・公正) 17(パートナーシップ)